

登場人物紹介

若手編集者
ウワイ

ヤマガ編集部期待の(?)4年目編集で、「MFゴースト」の新担当。勉強はできるがクルマのことはさっぱりという“さとり世代”。



クルマライター
アンドー

自動車メディア業界で暗躍するフリーの編集ライター。風貌も発言もうさんくさいが、クルマに関する知識やクルマ愛は本物。



第1~11巻、累計
270万部突破!!

『MFゴースト』

しげの秀一

累計5000万部「頭文字D」の系譜を継ぐ、新公道最速伝説。「MFG」第3戦は決勝! 時を痛めたカナタは順位を落としてしまう。しかし、カナタはそこで終わらなかった—!!

第11巻、絶賛発売中!!



『MFゴースト』応援企画!!
クルマの知識もモテる技術(?)も
マスターできる特別企画、新章第20回!

公道最モテ伝説

MF GHOST

第20回

ウワイ、国産最高級スポーツに憧れる! の巻

入社4年目の

若手編集部員ウワイ。

これは、時代の波に乗れない彼がクルマを乗りこなすまでを描いた物語である——。

「あらすじ」「お待たせしました。お待たせしすぎたかもしれせん!」と言っちゃうくらい久々のクルマ紹介! 今回は前園が第2戦から駆る国産スーパーカー・NSX!! そもそもこんなのが買えん! 買えるヤツは他にモデルグマを所有している気もするが、そんなことは気にしたら負けだ! 行ってみよー!!

★ ★ ★
アンドー(以下、安ド) オッス!
ウワイくん、モテてるか?

ウワイ 仕事に全力投球なので、出会う機会もありませんよ。

安ド いや、言い訳はよくないぞ。そのチャージングなお腹のせいだ。

ウワイ 今は多様性の時代です。僕みたいなポップなBODYでも出

会いの場である会食があれば……!

安ド ふん、なにも出会いはコンパや飲み会がすべてじゃない。会食

できなくてもいい男はモテる。同じように、今買えなくても人気のあ

時代に合わせて進化を遂げた
国産最高峰のスーパースポーツ

今回の
試乗車



【ホンダ NSX

2420万円



伝説の和製スーパーカーが、2017年に復活。先進的電動化技術を搭載されている



コンセプトは「人間中心のスーパースポーツ」で、運転の快適性にもこだわっている

るクルマがある!

ウワイ え、まさか、今日乗らせてもらうクルマって、売ってないんですか?

安ド そう、この国産スーパーモデル・NSXは、現在2020年モ

デルの販売が終了してしまい、買えないのだ!

ウワイ な……なんと、買えないクルマが目の前に!

安ド 買えないと言っても生産終

了したわけではなく、在庫がないという意味だぞ。

ウワイ なるほど、では、買いたい人は、買えるようになるのを待ちましよう!(笑)で、ついにNS

Xですか。伝説の日本車ですね。

安ド お、キミも知ってたか。日本が誇る名車だよ。見よ、この低さ、

この幅広さ、そして前傾姿勢、これこそミッドシップ・デザインの真髄!

ウワイ 超かっこいいです! 海外

のスーパーカーみたいですね。

安ド そう、何かに似ているとかいろいろ言われるけど、やっぱりカッコいいんだよね、この全体のスタイリングのバランス感。
ウワイ 顔もシャープでキリッとしてますね。

安ド たしかに。最近のホンダのファミリーフェイスに通じるところがありながら、スーパーカーらしく、グローバルな雰囲気漂わせているよな。実際、アメリカの工場生産されてるわけだし。
ウワイ おお、米産産でしたか。そういえば、「MFゴースト」にはまだ出てきませんが、新型コルベツトも似た感じのスタイリングになりましたね。

安ド 新型はMR(ミッドエンジン・リアドライブ)化されたからね。アメリカの象徴でさえ、似てきたんだから、これからのスーパーカー



重量物である3.5L V6ツインターボエンジンを、ボディのほぼ中央に位置することで高い運動バランスを実現している

座席の後ろに埋め込まれたエンジン！
は、いかに個性を出すかで勝負する時代になるんじゃないか。
ウワイ なんてみんなMRにするんですかね。
安ド このNSXはミッドシップだけどMRではないよ。
ウワイ へ、後輪駆動じゃないんですか？
安ド ベースはリアドライブだけど、走行中に3つの電気モーターが走り強化するハイブリッド式の4WDだ。
ウワイ うへー、なんだかハイテクなんですね。デザインも最先端に見えてきました！
安ド 実際にハイテクデザインだよ。もちろん空力だって完全に計算されてるし、ボディはアルミを多用したスペースフレーム構造だし、動的な性能も、安全性も、すべてにおいてハイテクだ。
ウワイ え、ボディはアルミでできてるんですか？まさかリサイクル

セクシーな隙間を発見!



最新の空気力学を取り入れたボディデザイン。サイドウィンドウ後方には隙間があってここを風が通り抜ける構造

1990年に発売された初代モデルでも話題になったエンジン後方に設けられたトランクスペース。狭いけど、あるだけでもすごい!



収納は極めてミニマムッス!



車内にも収納スペースはほとんど存在しない。ユーティリティよりなにより、「走ること」が一番に考えたクルマなのだ!

ルのため?
安ド 軽量化のためじゃない!
ウワイ けどなんだか、運転もしやすそうじゃないですか!
安ド そう、運転しやすい。ハイテクの塊だけど、クセがない。これは初代もそうだったんだけど、走らせるのに特殊技能が必要ないスーパーカーなんだ。
ウワイ ほほほ、ほんとうだ。このボクでも車高が低すぎる以外、気にせず運転できるなんてー!
安ド もちろん、一般道じゃ体感できないレベルのスピードを出せば、限界領域だって世界トップレベルだからね。
ウワイ か、完璧なクルマじゃないですか!まさに僕が目指している姿です!「仕事も女もばっちり完璧な男」のクルマ版。これ、ボク買っちゃいましょうかね。



なんだか変わった形?

上下がちよっと平らになっていて、とても操作しやすい形状に設計されたステアリング。「素材の革も手になじむ感じでした!」(ウワイ)

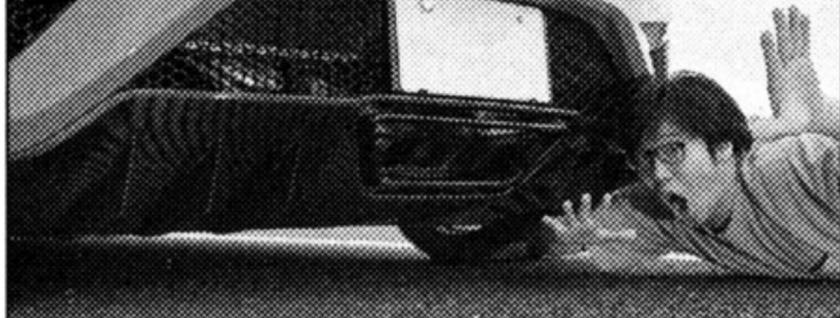
安ド いいと思うぞ。確実に将来のクルマ遺産になるからな。ま、2400万円だけど。
ウワイ ……た、高い!
安ド そうなんだ。いま日本車で一番高いクルマなんだ。けどさ、「MFゴースト」の作中で前園がシビックタイプRからこれに乗り換えてるじゃん。
ウワイ そうですね。
安ド いったい前園ってどんな仕事してるんだろうか? (笑)
ウワイ たしかに。他の参戦車も高いといえば高いですが、前園のNSXはハイブリッドシステムをはずす改造までされてますからね。
安ド それは金がかかってるな! けどあの髭ツラだ、きつとまっとうな会社員ではあるまい(↑偏見)。いちファンとして、今度、前園のスピコンオフが読みたいぞ!
ウワイ 実現可能性はわかりませんが、今後の前園の活躍とスピコンオフに期待しましょう(笑)。

今回の格言

できる男が乗るできるクルマ!
これが買えるくらいになれば
きっとモテるに違いない!

「仕事もプライベートも完璧なできる男のようなクルマでした!」(ウワイ)「これを買えるくらい高収入になればキミもモテるぞ!」(安ド)

迫力の中央4本出しマフラー!



中央4本出しのマフラーが個性的で超スポーティ! ボディ後方下部は上へ迫り上がっていて、この形状が空力をコントロールしダウンフォースを獲得する